

【概要】

平成28年度 東京都自立支援協議会第2回本会議 全体会①記録

出席者 沖倉会長、高沢副会長、海老原副会長、河井委員、近藤委員、柴田委員、
鈴木（卓）委員、鈴木（康）委員、出保委員、西脇委員、古川委員、本多委員、
山梨委員、和田委員

14名出席（遠藤委員、中山委員、平川委員、山本委員、4名欠席）

開会	
藤井センター所長挨拶	
事務局	資料確認 次第 資料1 第4期東京都自立支援協議会委員名簿・グループ別名簿 資料2 平成28年度 地域自立支援協議会交流会実施報告 資料3 平成28年度 東京都自立支援協議会セミナー実施報告 資料4 「平成28年度版 東京都内の地域自立支援協議会の動向」（案） 資料5 第4期東京都自立支援協議会 活動のまとめ 資料6 平成28年度東京都自立支援協議会第2回本会議 グループ討議 — 第4期東京都自立支援協議会活動の振り返り— 参考資料1 「人をつくる・地域をつくる ～東京都自立支援協議会 5年間の取り組みを踏まえて～」(平成28年度東京都自立支援協議会セミナー資料より) ※協議会セミナー、沖倉会長講演時の資料から抜粋、本日のグループ討議での協議会活動の振り返りで協議を行う際の参考としてもらう。 参考資料2 都道府県別 平成28年9月までの計画相談支援実績 参考資料3 東京都における平成28年9月までの計画相談支援実績（区市町村別） 参考資料4 平成27年度都内における障害者虐待の状況
沖倉会長	動向集についての説明を事務局から
事務局	資料4「平成28年度版 東京都自立支援協議会の動向」（案）説明 編集方針として、各区市町村の地域自立支援協議会の基礎的な設置状況や活動状況、相談支援を担う人材育成に関する取組等について調査・公表することにより、地域の相談支援体制の整備につなげることを目的とする。 今回は回答方法を記述方式から一部選択方式に変更する。 調査基準日 平成29年3月31日 発行日 平成29年7月頃予定 掲載内容 (1) 東京都内における協議会の活動状況及び相談支援体制

	<p>(2) 各区市町村における協議会の事務局 (3) 各区市町村における基幹相談支援センターの設置状況 (4) 東京都内における地域自立支援協議会の活動状況</p> <p>① 協議会の設置状況 ② 全体会及び専門会の活動回数、活動内容、委員数、委員名簿 ③ 協議会における活動状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協議会での協議事項 ・当事者の協議会への参加状況及び参加の際の配慮 (★) ・協議会の区市町村障害福祉計画への関与状況 (★) ・人材育成に関する課題や取組状況 <p>④ 区市町村が独自で行っている研修の実施状況 (★) (★) 印が新規項目になる。</p> <p>配付先 区市町村（主管課、協議会委員、部会委員、委託法人、その他）、都協議会関係者等</p> <p>調査結果を周知するため、冊子の発行及び概要版を心身障害者福祉センターホームページに掲載する。</p>
<p>沖倉会長</p>	<p>動向集の調査項目について整理を行う。具体的には今後、事務局と相談のうえ、進める。</p>
<p>事務局</p>	<p>グループ討議の進め方の説明</p> <p>グループ討議では、第4期東京都自立支援協議会活動の振り返りを2つのグループに分け、討議する。</p> <p>「資料5 第4期東京都自立支援協議会 活動のまとめ」 説明 「資料6 平成28年度東京都自立支援協議会第2回本会議 グループ討議 — 第4期東京都自立支援協議会活動の振り返り—」 説明</p> <p>グループ討議では、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 人材育成の取組について 2 地域協議会との関係性について 3 都協議会活動に委員として参加した感想 4 今後、都協議会として取り組んでいきたいこと <p>以上4つを柱として、これまでの活動を振り返り、感想等をいただき、今後どのようにしていけばよいか議論を行う。</p> <p>セミナーにおいて、第4期の取組の報告が会長よりあったが、出席されていない委員の方もいるので、会長よりお話しいただきたい。</p>
<p>沖倉会長</p>	<p>セミナーにおいて、これまで5年間何をしてきたのか、人材育成について詳しく話をした。</p> <p>グループ討議では、資料6の4つの柱で振り返りをお願いしたいので、説明をさせてもらう。</p>

参考資料1「人をつくる・地域をつくる～東京都自立支援協議会年間の取り組みを踏まえて～」で今までに何をやってきたのかの説明。

得られた成果とその意義というところで、

- (1) 地域の実態把握による全都的課題の抽出はできたのか？
- (2) 地域の相談支援体制のバックアップはできたのか？
- (3) 人材育成に取り組めたのか？

について評価をした。評価について、これから皆さんにも話してもらおう。

今後の取組について、自分なりにまとめた。あくまでも会長としてだけでなく、研究者として、都協議会のあり方について、残された課題と提案として5点を書いた。

- (1) 地域協議会との連携の強化：言われていることだが取り組めていない。都協議会は地域協議会の総体、都だけでは何もできない。
- (2) 地域課題の抽出の深化：図2「障害者（児）ケアマネジメントの過程における相談支援専門員等に求められる視点、行動」を作る作業を行った。地域から上がってきたものを整理し完成させた。都委員だけではできないものということの説明。
- (3) 委員の参画の多様化：セミナー、交流会において地域で実践している方に舞台に上がってもらった。当事者の方が参加し、意見を言ってもらうことについて、どれだけ配慮が出来たかを振り返る。
- (4) 事務局（都）への期待：課題が明らかになり実現のために、施策に反映させる仕組みが出来なかったことを反省し、次期に検討し、それを事務局が支えてほしい。
- (5) 人材育成の展望…育成指針（ビジョン）と育成体制の検討：研修の検討会が別に組織されている。自分たちはどんな人を育てていくのか、育てあうのかを確認しなくてはならないので、意見を出してもらおう。

以上のことがグループ討議の参考になればと思う。